



先月まで黒沼公認会計士・税理士が担当してきました「ひまわりだより」1面を、今回から主に私（植村）が担当させていただくことになりました。1面では、税務以外の話題を中心にお届けしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

生成 AI について

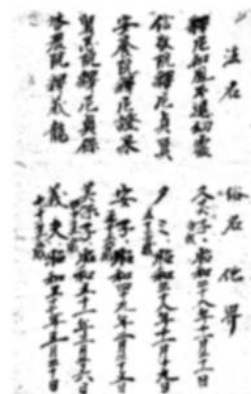
生成 AI の利用が日常的になってきたと感じます。7月24日に総務省が発表した情報通信白書によると、生成 AI を使ったことのある個人の割合（日本）は2025年で58.8%と、前年から倍増したそうです。アメリカ・中国はそれぞれ75.6%・93.6%とかなり高いだけでなく、生成 AI が「調べるための道具」の次に「友人」だと認識している人が増えているそうです。AI が人の感情や日常の判断にも、少しずつ影響を及ぼし始めているのかもしれません。

個人的にやってみたこと

今年は生成 AI の中でも「Claude がすごい」という記事を良く目にします。そこで私も個人的に Claude を試してみました。情報漏洩防止のため有料版にて、入力した内容が学習に使われない設定（オフ）にしています。最初は ChatGPT と同じような質問応答から試し、次に Claude ならではの「作業を任せる」使い方をしてみました。

お盆を控えたタイミングということで、次の3つをさせてみました。

- ① 自宅の仏間にあるご先祖の命日一覧（筆字）をスキャンして PDF 化
- ② その PDF ファイルを Claude に読ませ、エクセルでの一覧作成を指示
- ③ エクセル上の命日から今後の法事の予定年を計算し、表示するよう指示



さすがに筆字の法名や漢数字の読み取りやでは、誤りや欠落がいくつかありました。しかし、「ここは自信がありません」という箇所には、不完全ながら自分から色を付けて教えてくれる律儀さがありました。手直しをして③の指示を出すと、今後の法事の予定年を人別にきれいに表示してくれました。ここまで大した時間もかからず出来て、正直驚きです。

同様の内容を Gemini に指示すると、手間は多少多めにかかりましたが、できました。ChatGPT では画像読解段階で、また Sakana Chat（日本企業）では作業指示段階で「出来ません」という返事が来ました。※「ChatGPT」「Gemini」「Claude」「Sakana Chat」は生成 AI の名称です。



私たち会計業界でも、AI の活用が盛んに議論され、また使われてきています。最近お客様に導入していただいた「マネーフォワード」には、「AI-OCR からの入力」機能があり、PDF 化した請求書等を読んで仕訳化する機能があります（プランにより一定件数まで無料、それ以上は1件20円）ので、まずは試しに使って見ていただければ幸いです。

生成 AI を業務にどのように活用あるいは移行するか、どの業界でも大きなテーマです。これ自体がどんどん進化しており、実行内容の程度が高くなるのは間違いありません。引き続き情報収集・研究を重ね、活用方法を広げていきたいと考えております。（植村）

